

浜松市のスーパーシティについて

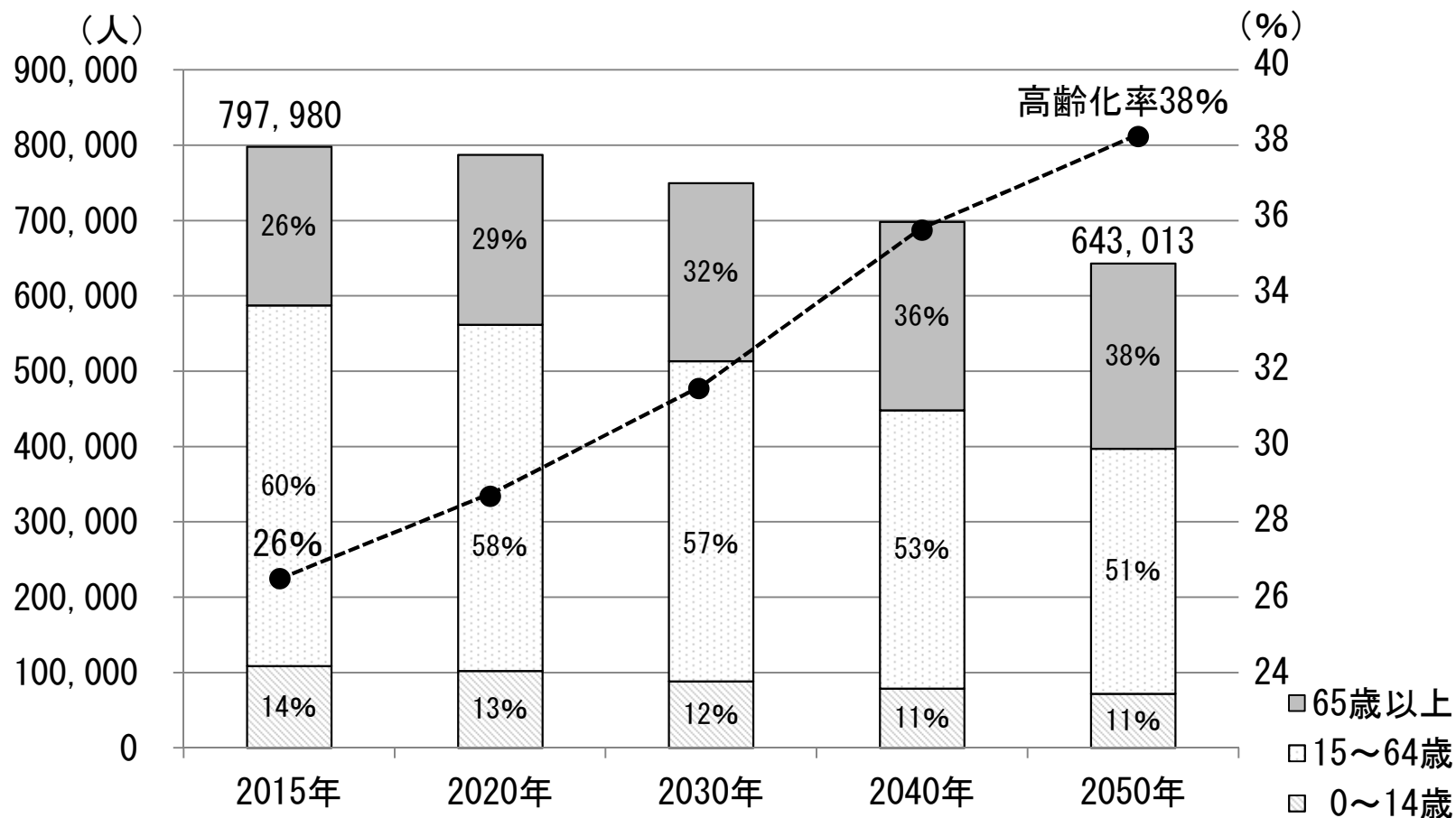


- 1 デジタル・スマートシティ浜松
- 2 国の「スーパーシティ」構想
- 3 浜松市が目指すスーパーシティ

(1) デジタルを活用する意義・目的

○人口減少、少子高齢化

⇒ 2050年には、総人口が約15万人減少
 生産年齢人口が約3割減少
 5人に2人が高齢者に



出典:浜松市“やらまいか”人口ビジョン(令和2年改訂版)

人口減少・少子高齢化

インフラ老朽化

気候危機・自然災害の激甚化

など様々な課題が発生

- 従来の方法や体制では解決が困難な状況
- まちづくりや都市経営に新たな視点や変革が求められている

AI・ICT等の先端技術やデータ活用

デジタル活用による 課題解決への期待の高まり

先端技術や様々なデータを活用し、官民連携で地域課題の解決や、よりよい暮らしの実現を目指す「デジタル・スマートシティ」への期待が国際的に高まっている

(2) デジタルファースト宣言

■ 宣言日

令和元年10月31日

■ 目的

人口減少・少子高齢化をはじめとした社会課題が深刻化するなか、AI・ICT等先端技術やデータ活用などデジタルの力を最大限に活用し、持続可能な都市づくりを推進する。



■ 戦略分野

- (1) 「都市づくり」のデジタルファースト【都市の最適化】
- (2) 「市民サービス」のデジタルファースト【市民サービス向上】
- (3) 「自治体運営」のデジタルファースト【自治体の生産性向上】

(3) 浜松市デジタル・スマートシティ構想（案）

（令和3年3月策定予定）

■ 構想策定の趣旨

「浜松市デジタルファースト宣言」に基づき、都市づくりをデジタルファーストで進めるデジタル・スマートシティ政策の指針として策定し、多くの方々と共有し、官民共創で“デジタル・スマートシティ浜松”の実現を目指します。

○今後の予定

パブリック・コメント	～	令和3年2月24日（水）
意見のとりまとめ	～	令和3年3月中旬
構想の策定		令和3年3月下旬

将来像

～デジタルで“繋がる未来”を共創～

人口減少・少子高齢化やインフラ老朽化、コロナ禍の状況においてデジタルの力を最大限に活用し、「市民QoLの向上」と「都市の最適化」を目指し、デジタルで“繋がる未来”を官民で共創します。

目指す方向性（基本理念）

「市民QoLの向上」と「都市の最適化」

必要な視点1

オープンイノベーション

イノベーションの創出に向け、組織や分野等を越えた共創のまちづくりを推進します。



必要な視点2

市民起点/サービスデザイン思考

デジタルは、「市民QoLの向上」「都市の最適化」のための手段と捉え、“市民起点”のまちづくりを推進します。



必要な視点3

アジャイル型まちづくり

スモールスタートでまずチャレンジし、トライ&エラーを繰り返し、変化に強いまちづくりを推進します。



基本原則1

オープン/相互運用性

基本原則2

包摂性/多様性

基本原則3

透明性/プライバシー

基本原則4

持続可能性

基本原則5

安全・安心/強靭性

デジタルの力を最大限に活用し、「課題解決型のアプローチ」と、「未来に夢と希望を持てるチャレンジ」を組み合わせることで、ヒト・モノ・コトを繋ぎ、“繋がる未来”を共創します。



デジタル活用で世界と音楽で繋がり、デジタル・音楽・芸術が融合した新たな文化を浜松から発信。



遠隔医療やIoTを活用した見守りでどこでも安心して生活。AIがデータに基づきお薦めの食事や運動を紹介してくれて、いつまでも健康に生活。



世界の学校と繋がりオンライン留学。AIが自分にあった学習メニューを推薦。年齢に関係なく、誰でも多様な学ぶ機会があり、いつでもチャレンジ可能。



高齢者や障がい者、外国人、女性、誰もがデジタル技術に支えられ、社会と繋がり、それぞれの力を発揮。



※デジタル・スマートシティのイメージ図であり、都市構造を示すものではありません。



ドローンやロボットの活用で省力化と生産性が向上。AIやビッグデータを駆使し、付加価値が向上した儲かる農林業が実現。



どこにいてもドローンで好きなもの・サービスがいつでも届く。免許を返納してもライドシェアや自動運転で自由にどこへでも移動。

【デジタルで“繋がる未来”のキーワード】

- 人と人が繋がる（リモートでの見守りや面会、相談、帰省等）
- 社会と繋がる（高齢者や障がい者、外国人、女性等の社会参加をサポート）
- 都市部と地方が繋がる（リモートワークや多拠点居住の促進）
- サービスが繋がる（遠隔教育、遠隔医療、遠隔鑑賞等）



スマホ1台でどこでもいつでも簡単手続。必要な情報は必要な時に届き、困ったときは、24時間、AIコンシェルジュが対応。職員の対面相談も選べる、便利で安心な市役所。



センサーのデータやAI予測により危険を回避。被害を最小限に抑え、災害の状況もリアルタイムで可視化。大切な人や情報、支援に繋がり安全安心な社会を実現。

「浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム」を中核に、官民共創でデジタル・スマートシティを推進し、「地域課題の解決」と「イノベーションや新たなビジネスを創出」するエコシステム（好循環）を形成します。



ロードマップ



市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」
浜松市未来ビジョン実現への貢献

■ 推進体制

- 官民連携プラットフォームは、各分野の推進組織と連携し、分野間連携とデータ利活用を推進。
- 官民連携プラットフォームは、民間主導のプロジェクトの創出を支援し、市民目線で地域のプラットフォーム及びコーディネーターの機能を担う。



■ 目指すエコシステム

- ベンチャーなどから課題解決のアイデアやソリューションの提案を受け、実証実験を実施。
- トライ&エラーを繰り返し、社会実装へと繋げる。

【市民】

市民は、実証実験への参加やサービスを選択するという間接的な参加やシビックテックなど直接的な参加を通じ「市民QoL向上」に貢献。

【企業】

企業は、地域課題の解決に貢献することで新たなビジネスやイノベーションの創出の機会とする。

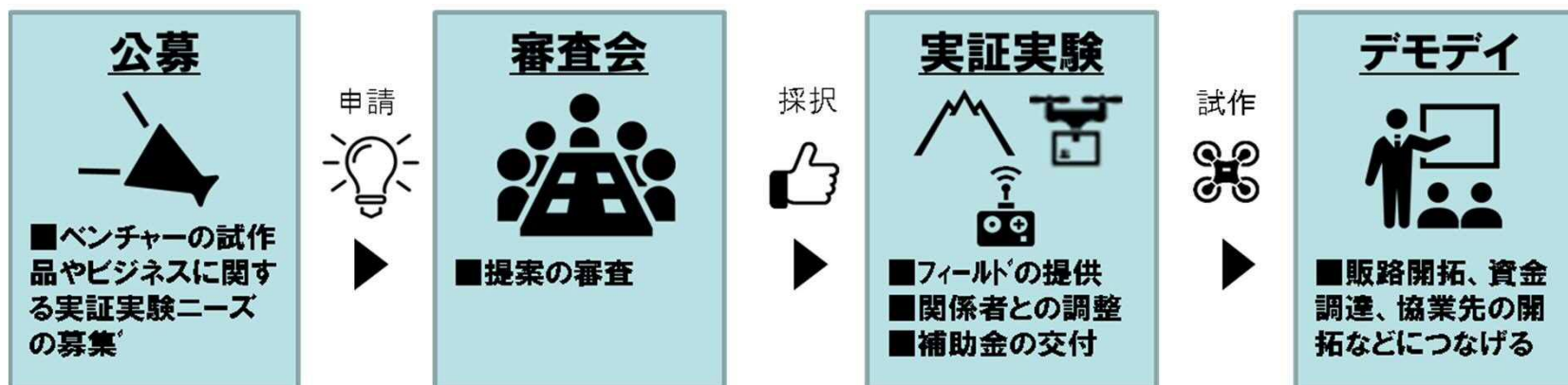
「国土縮図型都市・浜松」の多様な実証フィールドの活用



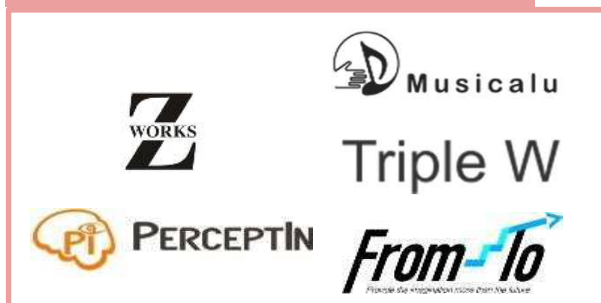
(4) これまでの取組み

浜松市実証実験サポート事業

今後の飛躍的な成長が期待される ベンチャー企業等が浜松市内で実証実験を実施するための各種支援を行う。



■令和元年度採択企業(5社)



■令和2年度採択企業(7社)



事業化もしくは次のステップへ

浜松市実証実験サポート事業（事業例）

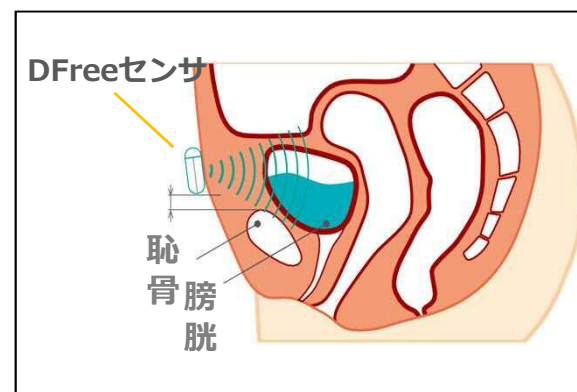
令和元年度採択事業

PerceptIn Japan 「自動運転システム実証プロジェクト」



- ・ GPSとコンピュータビジョンと超音波センサ等のセンサ統合によって非常に安価なシステムとなっていることが特徴の自動運転システム。
- ・ 天竜区水窪町において11月21日～24日に掛けて自動運転車両の公道走行実証を実施。地元住民ら約120人が試乗。

トリプル・ダブリュー・ジャパン 「排泄予測デバイス「DFree」を活用した医療・介護の質向上プロジェクト」



- ・ 膀胱のふくらみを超音波でリアルタイム計測し、排尿リズムの見える化が可能となる世界初のウェアラブルデバイス「DFree」を開発・提供。
- ・ 現在、西区西山町の老健施設「西山ウエルケア」において「DFree」を活用し、施設入所者の排尿ケアを実施中。

ウエルネスプロジェクト

浜松ウエルネスプロジェクトは、“市民が病気を未然に予防し、いつまでも健康で幸せに暮らすことができる都市（=予防・健幸都市）”を実現するための新たな官民連携プロジェクト。

予防・健康事業

- ★生活習慣病予防
- ★健康に関心の低い青壮年期への取組強化（検診受診率向上）
- ★企業・団体と取り組む健康づくり（健康経営）
- ★介護予防（フレイル、認知症等）etc

浜松ウエルネス推進協議会

ウエルネス・ヘルスケア ビジネス支援

- ★公的保険外サービスの創出

☆官民連携
社会実証事業



出典：経済産業省委託事業から引用し一部改変

浜松ウエルネス推進協議会

浜松ウエルネス・ラボ

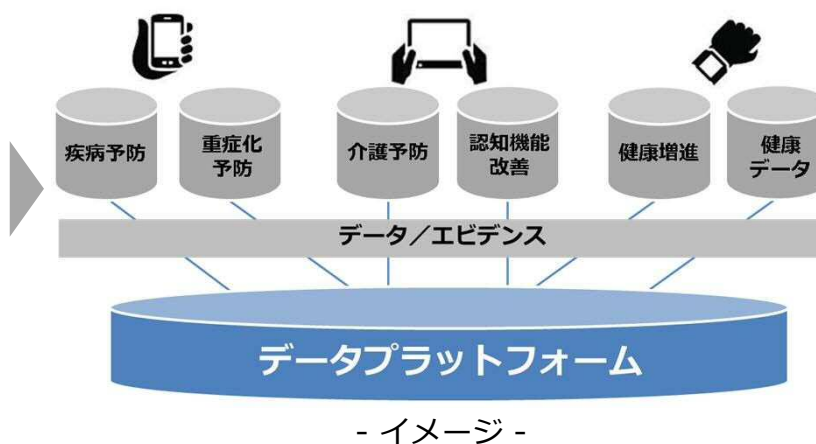
浜松ウエルネス推進協議会 … 地域内の115社・団体が参画（地域企業98社、関連団体17団体）
(R2.12月現在)

ウエルネスプロジェクト

浜松ウエルネス・ラボ

地域外の大企業と共に、市民の「疾病・介護予防」や「健康づくり」に寄与する“浜松発”の様々な官民連携社会実証事業等を展開し、データやエビデンス等を取得・蓄積。R2.10月現在、地域外大企業7社が参画。

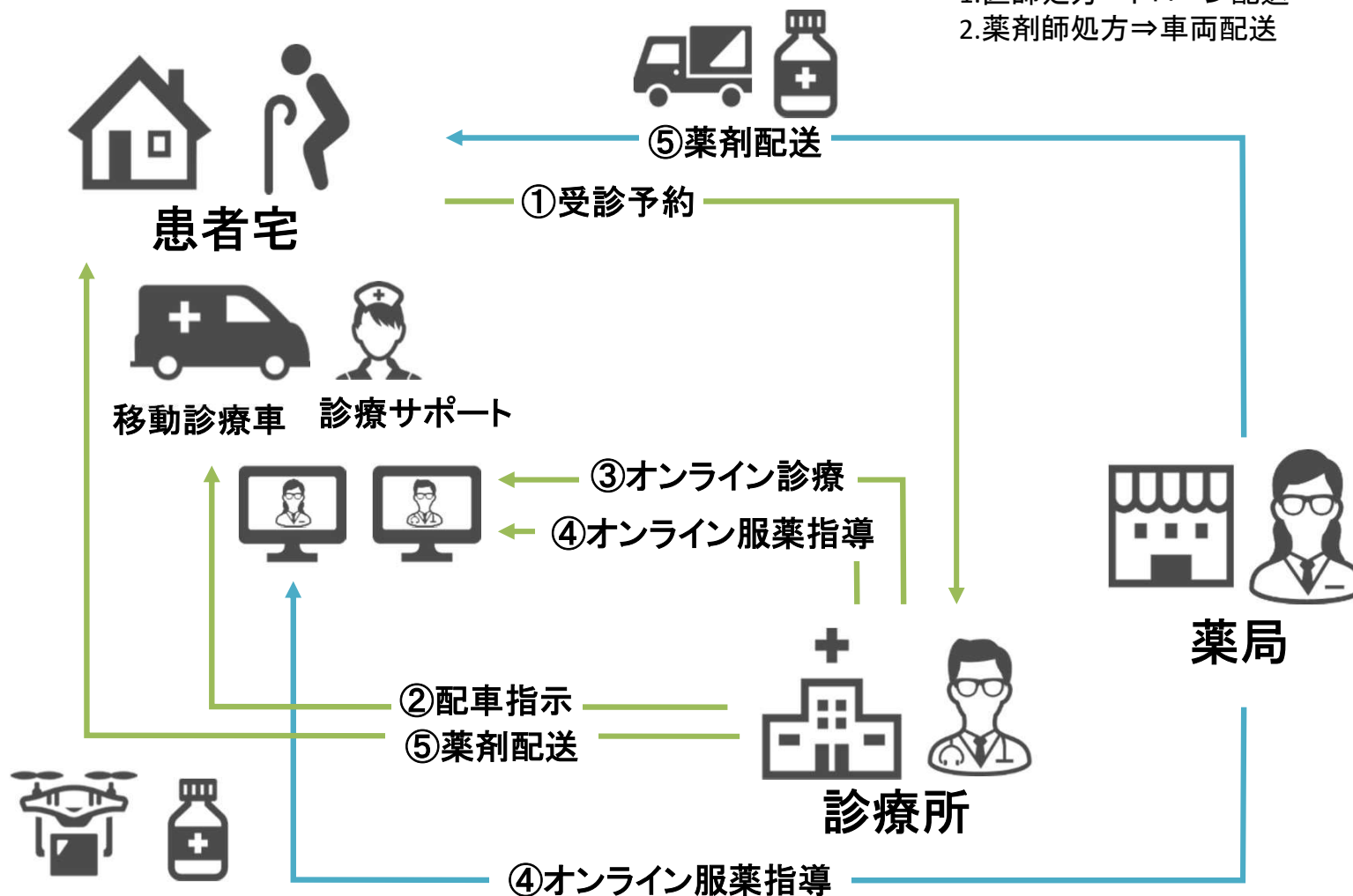
企業名 (50音順)	事業名	目的
よろこびがつなく世界へ KIRIN FANCL 正産品賞。	1. 聖隷MCIスタディ	認知機能改善
	2. ロコトレ参加者等に対する脳の健康に関する介入	認知機能改善
	3. 中高齢者対象の嗅覚機能と気分・ストレス状態に関する調査研究	健康増進 (精神面)
	4. 笑いの鑑賞が脳機能へ及ぼす作用に関する研究	認知機能改善
あなたの未来を強くする 住友生命	1. スミセイ“Vitality Action”	健康増進
SOMPOひまわり生命	1. 脳ケアアプリによる早期認知機能低下予防	認知機能改善
	2. デジタル技術&ヒューマンタッチによる血糖コントロール	生活習慣病予防 (糖尿病)
一生涯のパートナー 第一生命 Dai-ichi Life Group	1. 健康増進アプリによる健康増進活動サポート	生活習慣病予防・健康増進
	2. IOT歯ブラシを活用したオーラルケアによる生活習慣病予防(歯周病)	生活習慣病予防 (歯周病)
“大切な人を想う”のいちばん近くで。 日本生命	1. ウォーキングアプリを活用した健康増進イベント(企業・事業所対抗ウォーキング大会)	健康増進



春野医療MaaSプロジェクト

(1)オンライン診療(2)オンライン服薬指導(3)薬剤配送

※薬剤配送は
1.医師処方⇒ドローン配送
2.薬剤師処方⇒車両配送



春野医療MaaSプロジェクト

(1) オンライン診療

専用車両が患者様のご自宅付近までお伺いし、同乗の補助員サポートのもと、オンライン診療を実施。

(2) オンライン服薬指導、薬剤配送

パターン①：診療所（小澤医院、浅倉医院）

診療所の医師がオンラインによる服薬指導を行い、薬剤をドローンでご自宅まで配送。

パターン②：薬局（杏林堂）

薬局で服薬指導をした場合は車で配送。

<期間> 令和2年10月19日～令和3年1月14日

<対象者> 診療所の患者様から10名



移動診療車



薬剤配送車



薬剤配送ドローン



※写真提供「LIGARE」

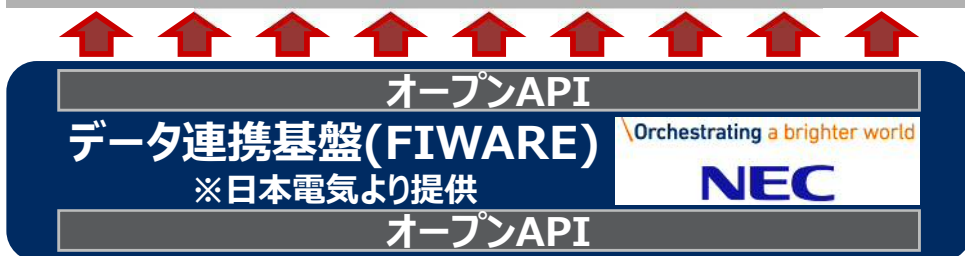
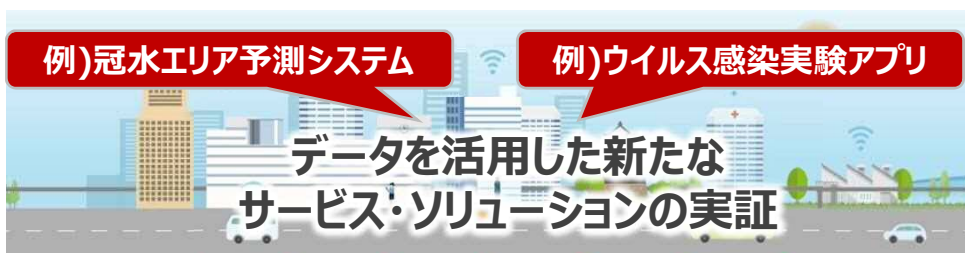
Hamamatsu ORI-Project

データ連携基盤「FIWARE (実証環境)」を活用した実証実験プロジェクトのこと。

■ Hamamatsu ORI-Project

(Hamamatsu **O**pen **R**egional **I**nnovation Project)
 正式名称：“デジタル・スマートシティ浜松” データ連携基盤を活用した
 実証実験募集プロジェクト

■ スマートシティ推進に必要な不可欠なデータ連携基盤を活用したユースケースの創出、及び新たなアプリケーションやサービスの創出が目的。



各種オープンデータ



浜松市や官民連携プラットフォーム、その他団体の持つオープンデータ

新たな浜松市データ



IoTセンサーや技術を活用し、新たな浜松市データを取り込む

■ 令和2年度は19件の応募プロジェクトのうち、8件を採択。

法人名・団体名	実証実験プロジェクト名称
クラ・ゼミ	きらりサポート・プロジェクト ※クラ・ゼミ支援のオープンデータ化等
静岡大学	高精度衛星測位を用いた市土保全モニタリング
スマートバリュー	ORI-Projectデータビジュアライズ実証
パイフotonクス	光と画像データを活用した中心市街地におけるムクドリ被害対策
梅林寺企画	児童・高齢者への支援ネットワークサービス (こども食堂連携・相互情報提供)
浜松医科大学	ウイルス感染の社会実験的シミュレーション
セールスフォース・ドットコム	避難所におけるCOVID-19感染防止対策の実証
オサシ・テクノス	冠水エリア予測システム

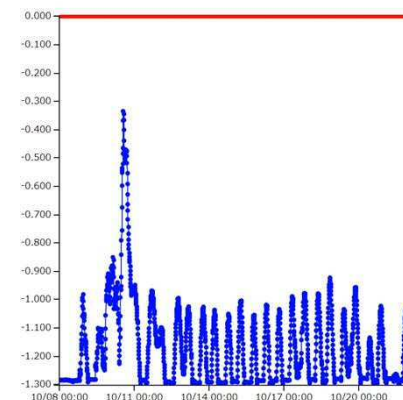
Hamamatsu ORI-Project (事業例)

パイフォトニクス 「光と画像データを活用した中心市街地 におけるムクドリ被害対策」



- ・ ザザシティ浜松前の街路樹（実験の対象は10本）に集まるムクドリの群れに対して、指向性の強いLED光により追い払うことでムクドリ被害を軽減させる。
- ・ 街路樹から街路樹へ移動をするムクドリをカメラで捉えて、画像解析によりムクドリの動きを検知し、データ化して分析を行う。

オサシ・テクノス 「冠水エリア予測システム」



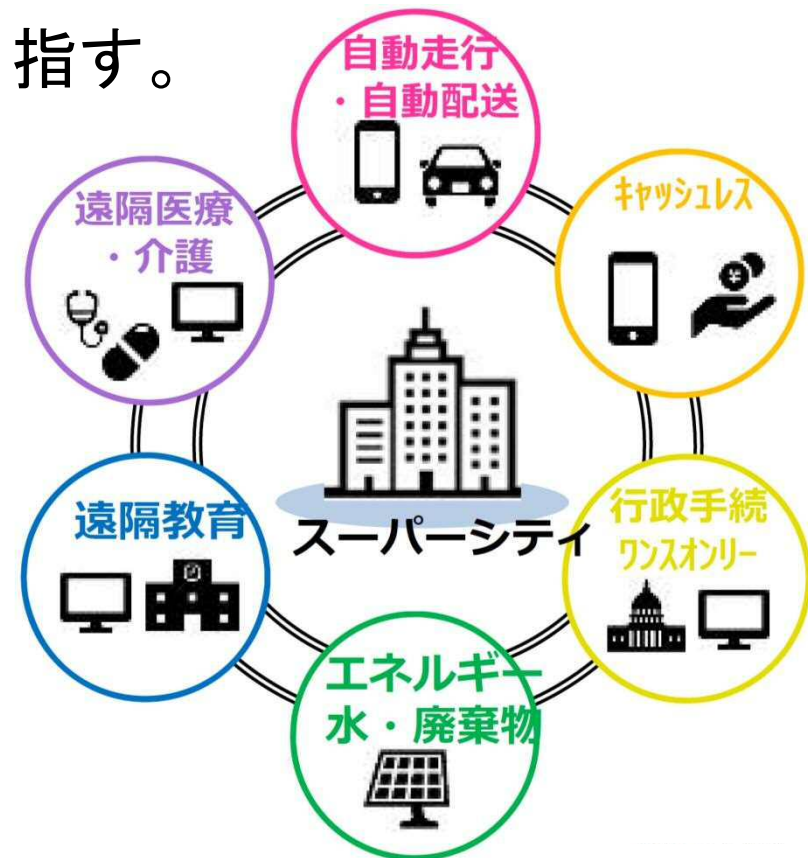
- ・ 冠水が発生する「若林北交差点」付近の道路わきに水位センサー、及び冠水センサーを設置。
- ・ 水位データ、冠水エリア予測データは、気象庁の雨量データや河川の水位データ等と共に、冠水メカニズムの解明に活用。

(1) 「スーパーシティ」構想の概要

住民が参画し、住民目線で、2030年頃に実現されるAI やビッグデータなどを活用した未来社会を先行実現することを目指す。

【ポイント】

- ①生活全般にまたがる**複数分野の先端的サービスの提供**
- ②**複数分野間でのデータ連携**
- ③大胆な**規制改革**



住民が抱える社会的課題を解決

(2) スケジュール

令和2年度

9月1日 改正国家戦略特区法施行
(制度的枠組み等)

10月30日 国家戦略特区基本方針改正
(区域の指定基準等)

12月25日 スーパーシティ公募 開始

4月16日 公募締め切り

令和3年度

4月以降 スーパーシティ型国家戦略特別区域 区域指定

(1) 浜松市の特徴

特徴を活かしたスーパーシティ

- ① 国土縮図型政令指定都市
…沿岸部や都市部、中山間地域などの多様な自然社会環境を有す
- ② 健康寿命日本一
…政令指定都市・特別区のなかで、健康寿命が一番長い
- ③ ものづくり力
…製造業の事業所数が4,000社以上あり、ものづくり力を有す

① 国土縮図型政令指定都市



- ① 広大な市域【全国で第2位】
(市域の約67%は森林)
- ② 沿岸部や都市部、中山間地域などの多様な自然社会環境
- ③ 山林、河川、湖、海等のあらゆる自然と豊かな開放空間
- ④ 過疎地域が市域面積の約50%
(みなし過疎地域)
- ⑤ 道路総延長【全国第1位】
- ⑥ 橋梁数【中部地整管内第1位】など

全国各市町村が抱える課題を凝縮した課題のデパート

『国土縮図型政令指定都市』を活かす！

多様な地域の多様な課題の解決に向けた
アイデア発見の宝庫であり、**実証実験等に最適**

様々な分野の先端サービスの実現

持続可能な都市モデルの実証・確立

② 健康寿命日本一

浜松市は男女とも3期連続**第1位** (2010年、2013年、2016年)

○健康寿命とは「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」

○厚生労働省の科学研究班が政令指定都市・特別区の2016年の健康寿命を調査（2018年7月公表）

	男性		女性	
	都市名	年齢	都市名	年齢
1位	浜松市	73.19	浜松市	76.19
2位	神戸市	72.54	名古屋市	75.86
3位	静岡市	72.53	相模原市	75.35
4位	名古屋市	72.47	福岡市	75.22
5位	相模原市	72.35	新潟市	75.20

なぜ日本一なのか？

気候が温暖で日照時間が長い

(全国有数の日照時間)



- ・うつになりにくい、骨密度や免疫力を高める

都市でありながら自然豊か

- ・豊かな農林水産物を育み、良質な食材を手に入れることができる



就労率が高い

- ・企業が多い、第一次産業も盛ん
- ・高齢者の社会参加が活発



医療体制が充実

- ・症状に応じた医院や病院の役割分担の実施



『健康寿命日本一』を活かす！

健診ビッグデータや気候、産業等のデータを活用した「**健康寿命日本一**」の理由の分析、研究により、**健康の秘訣を解明**

日常生活データ等を活用して健康維持に取り組む「**健康づくり**」プログラムの創出、それを助ける**新しい技術やサービスの活用**



健康寿命の延伸

ウェルネス・ヘルスケア分野の産業振興

③ ものづくり力Ⅰ【グローバル企業、多くの製造業の事業所が立地】

○輸送機器、楽器、光部品などグローバルに活躍する大企業の創業の地であり、本社や研究拠点等が存在。

○製造業の事業所数4,000社以上が存在。

(平成28年経済センサス活動調査)



○光技術を応用したセンサや光源を製造する企業が存在し、さまざまな医療機器や計測機器、分析装置等に応用が広がる。

○金属部品加工を中心に、オンリーワンまたは**国内屈指の技術力を有する企業が多数存在。**

○3Dモデリング技術をコアとするソフトウェア企業や、各種センサや計測機器のメーカーも集積。

製造業の就業率（政令市比較）

順位	都市名	割合%
1位	浜松市	23.8
2位	堺市	19.0
3位	相模原市	16.3
4位	静岡市	16.0
5位	川崎市	15.1

③ ものづくり力Ⅱ【大学や企業から優れた人材が輩出】

○光・電子技術は、IOT、ビッグデータ、AI、ロボット等の社会を創造する共通基盤技術を支える技術であり、モビリティ、医療、農業、医療等に活用されている。

○静岡大学、浜松医科大学、光産業創成大学院大学等の大学や研究機関では、**光技術を活用した医工連携をはじめとした最先端研究**が非常に活発であり、**高度で先進的な技術が蓄積**されるとともに**優れた人材を育成・輩出**している。

③ ものづくりカⅢ【革新的なイノベーションを生み出す地域】

○ 「スタートアップ・エコシステム・グローバル拠点都市」

(令和2年7月認定) 全国4地域の一つ！



ビジョン

スタートアップのアイデアと、ものづくり技術を融合させ、次々と革新的なイノベーションを生み出すことで、地域経済の持続的発展につなげていく。将来的には、このエコシステムを通じて、世界中のスタートアップのビジネスの成長を加速させ、我が国における「ものづくりスタートアップの拠点」としての役割を担うことで、日本経済の発展に寄与する。

『ものづくり力』を活かす！

技術力

国内屈指の技術力を有する企業が多数存在

人材

× ロボット・健康医療・新農業などの分野における光・電子技術など新たなイノベーションを起こせる優れた人材を育成・輩出できる環境

企業と優れた人材によるスタートアップ

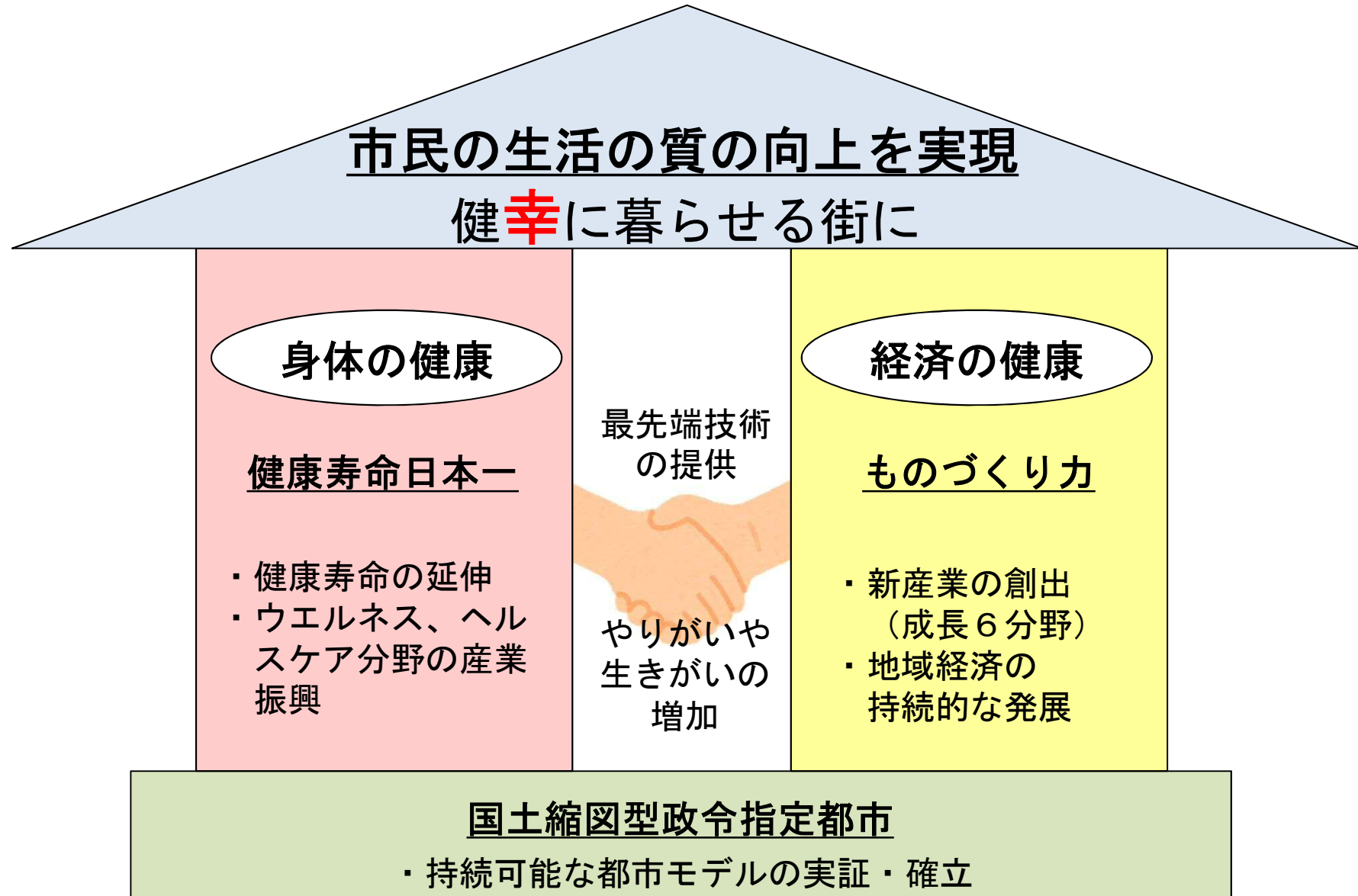
国家戦略特別区域外国人創業活動促進事業の活用

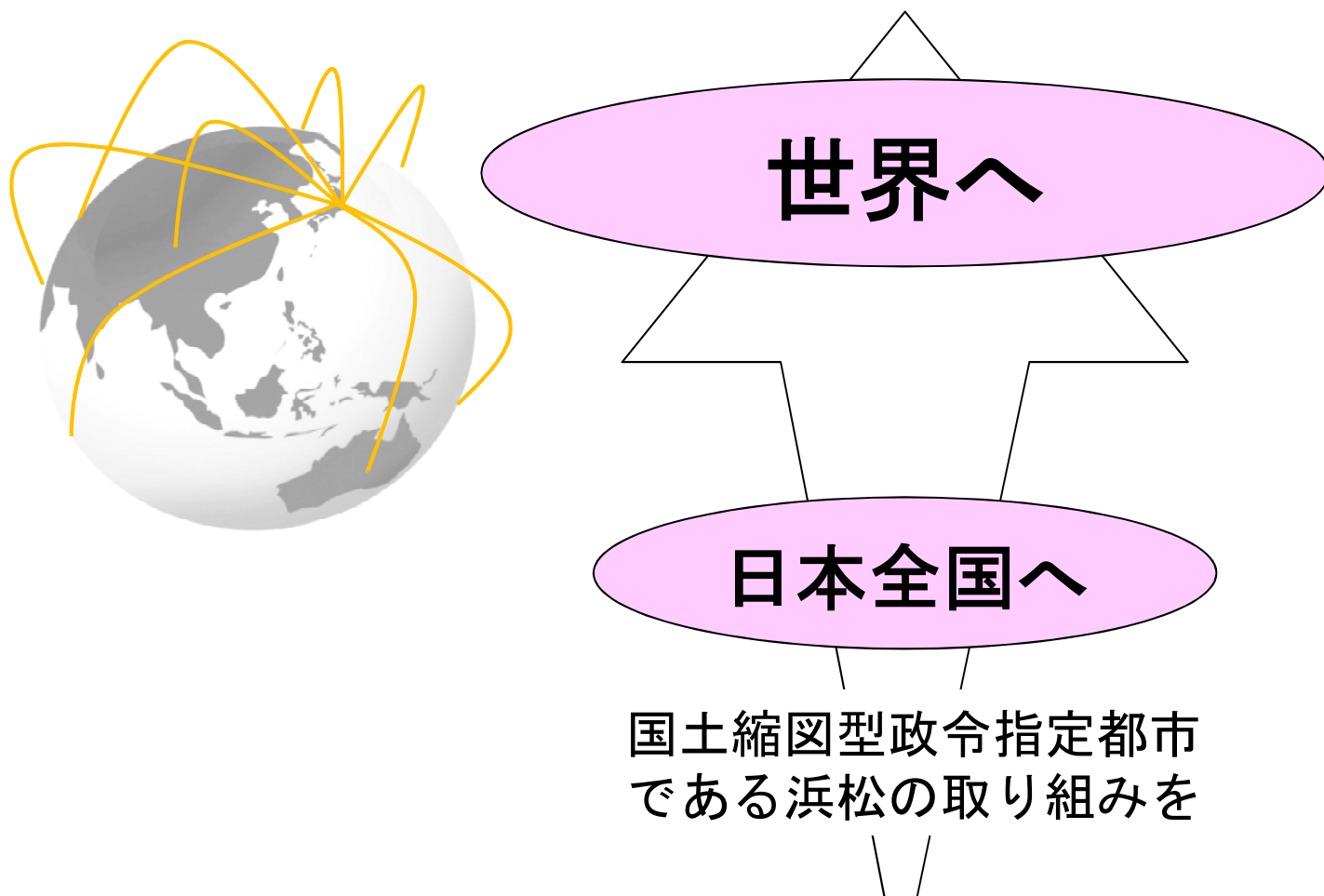
- ・ 新しいことに果敢にチャレンジする“やらまいか精神”
- ・ 国土縮図型都市の特徴を活かしたアイデア発見と実証実験

新産業の創出（成長6分野）

地域経済の持続的な発展

(2) 浜松市スーパーシティ構想の概要





「 Well-being スーパーシティ 」

『**身体**の健康』と『**経済**の健康』により、市民の生活の質の向上を実現

(3) 浜松市が提案する先端的服务

- ① 持続可能な医療提供体制
- ② 最先端物流システム
- ③ 次世代交通システム
- ④ スマート農業

①持続可能な医療提供体制

自宅まで移動診療車が訪問



移動診療車の車内で遠隔診療



オンライン診療の
診療科目等の規制緩和

- ・生活習慣情報(歩数データ、食事内容写真データ、睡眠時間データ、血圧データ)
- ・投薬情報データ等のビッグデータ活用し、診察を実施



電子処方箋の規制緩和

- ・処方箋情報をメールやFAXにて受け取り後、直ちに配送



ドローンに薬を搭載



自宅まで配送



ドローンの飛行許可の簡素化(規制緩和)

- ・3D地図データ
- ・気象情報
- ・建築物データ等と連携し、安全な飛行を実現

遠隔服薬指導の制限に関する規制緩和



薬が届いたら
遠隔服薬指導

インターネット



病院にいる医師

②最先端物流システム

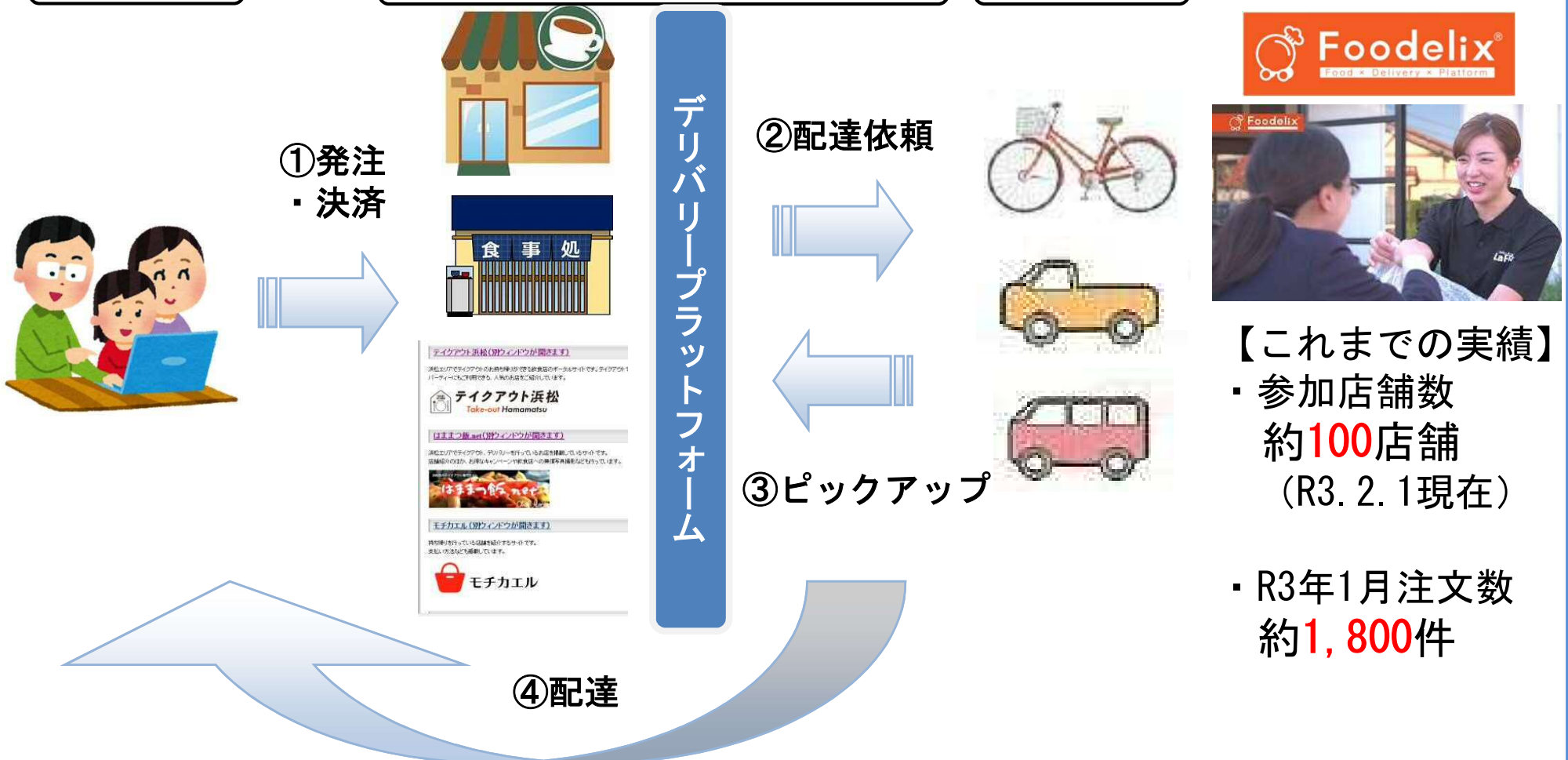
既存のテイクアウト紹介サイトや飲食店の情報と宅配事業者を結び付け、宅配サービスを受けられるケータリングシステムの構築

(ケータリングシステム構築イメージ)

利用者

飲食店、テイクアウト紹介サイト

配送事業者



【これまでの実績】

- ・参加店舗数
約**100**店舗
(R3. 2. 1現在)
- ・R3年1月注文数
約**1,800**件

自宅で食事や薬をキャッシュレスで注文



注文した日の内に到着



配達地域や場所により、最適な方法を選択

ドローンで配送

ドローンの飛行許可の簡素化(規制緩和)

自家用車で配送

自家用有償運送の規制緩和

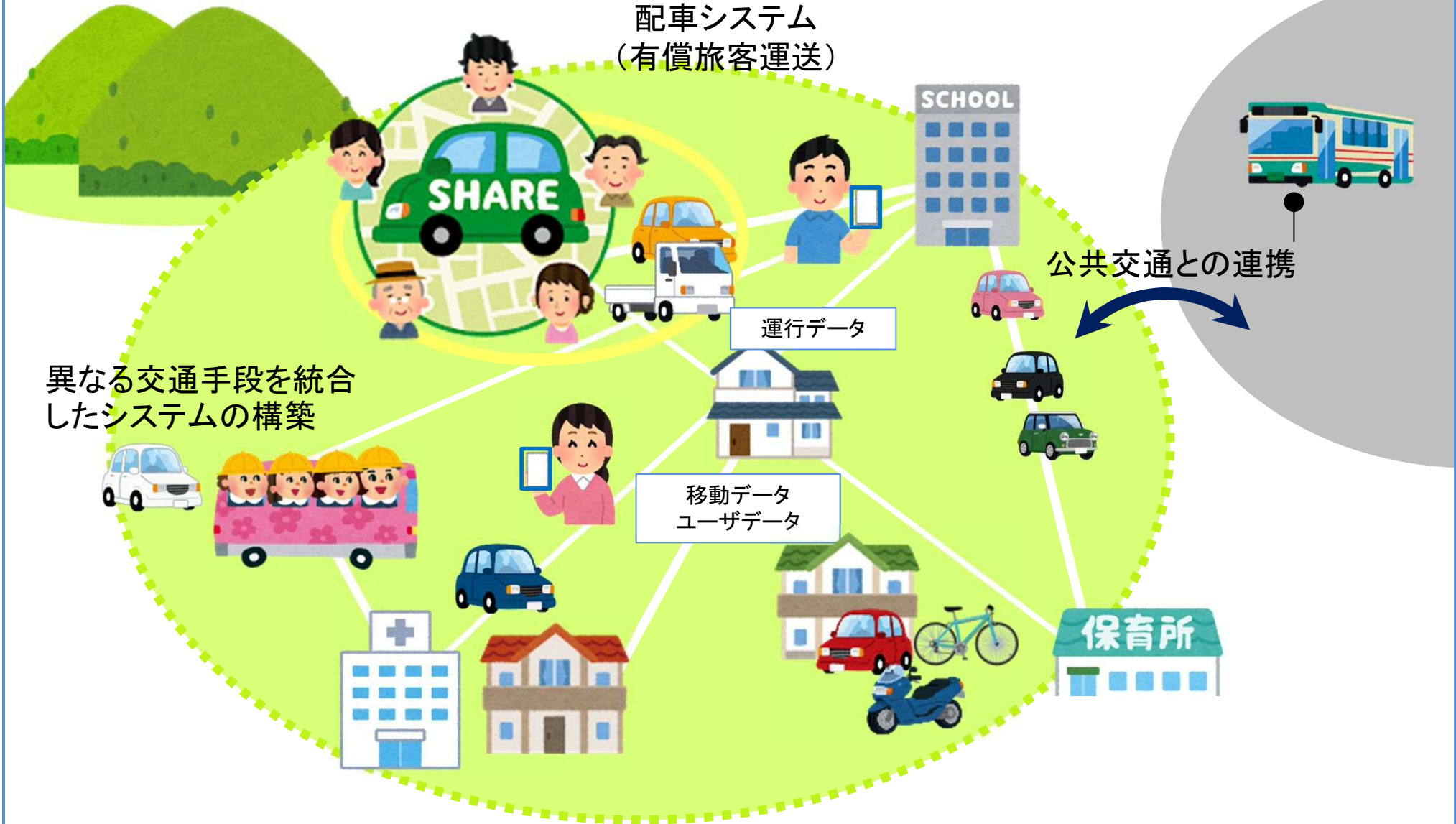
タクシーで配送

タクシーでの荷物の運搬制限規制緩和



③次世代交通システム

地域資源を活用した
配車システム
(有償旅客運送)



異なる交通手段を統合
したシステムの構築

公共交通との連携

移動データ
ユーザデータ

運行データ

保育所

④スマート農業

データを活用した生育管理



生育データを活用し、最適な水の量を判断。
栽培データから収穫量の時期や量を予測。



ドローンによる農薬散布



作物の生育状況のデータを活用し、最適な農薬散布量をAIが判断し、量を調整。

自動運転 草刈り機・トラクター



自動運転車両の公道走行の規制緩和



パワーアシストスーツの活用



自動運転トラクターや、自動運転草刈機の活用。
地図データやGPSデータと連携し、安全な自動運行を実現。

パワーアシストスーツを活用することで重いものを持ち上げる際の負担軽減

品質の向上・労働負担の軽減・生産性の向上

(4) 各分野の先端的サービス

【医療】

無人健康相談ボックス



複数パターンの回答を用意しておき、仮想人物と対話する形でAIが的確に判断し、簡単な健康相談に対応

【活用するデータ例】

- ・生活習慣データ（歩数、活動量データ、血圧データ、食塩摂取量データ、睡眠時間データ、体重データ）
- ・投薬情報データ

データを活用した生活習慣病予防の実施

日常生活から
健康データの取得



車から健康データの取得



日常生活の健康データや運転データ、車室内のセンシングデータを活用し認知症予防などの予防医療やヘルスケアサービスにつなげる。

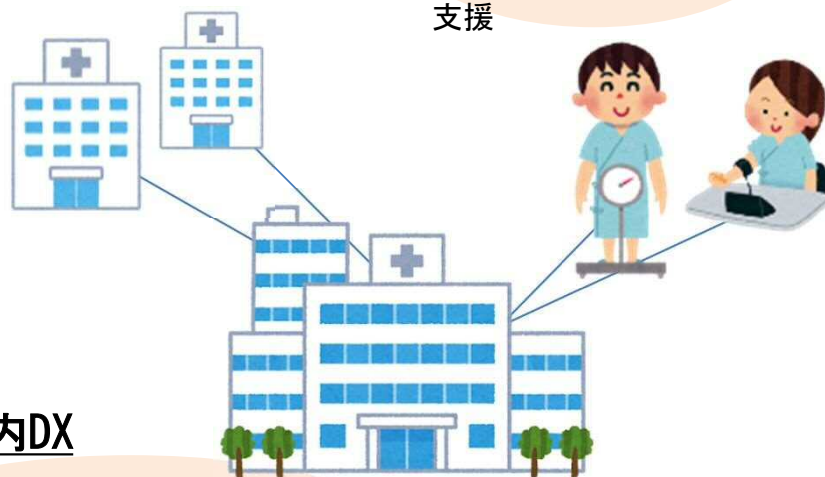
【医療】

病院間DX

リモート画像診断
リモート画像コンサルティング
AI画像診断（診断支援）

病院×病院外DX

自動問診システム
病院外（日常生活）での健康関連データを活用した初診時の自動問診による診断支援



病院内DX

音声入力代行等
遠隔医療、電子処方箋

【活用するデータ例】

- ・生活習慣データ
- ・投薬情報データ

【福祉】

オンライン障がい児通所サービスの実施



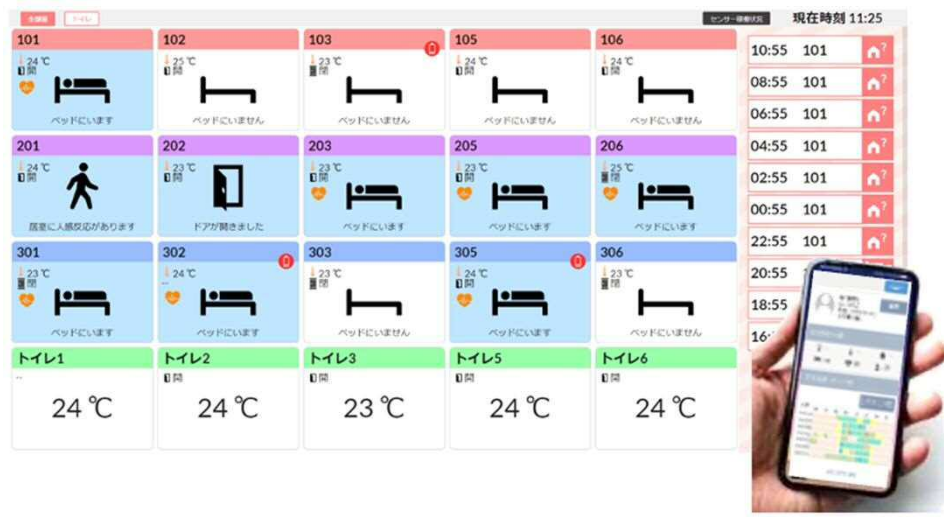
通所支援と遠隔支援と両輪での支援を実施することで、児童に寄り添った対応が可能

【活用するデータ例】

- ・環境情報
- ・利用者データ、事業所データ
- ・学習進捗情報のデータ

【介護】

介護施設の室内センサー活用



センサーを活用することで全部屋の状況が一画面で確認可能、夜間等の安眠を妨げず状況把握が可能

- 【活用するデータ例】
- ・ 日常生活リズム情報（バイタル情報）
 - ・ 排尿に関する予測情報
 - ・ 転倒に関するセンサー情報

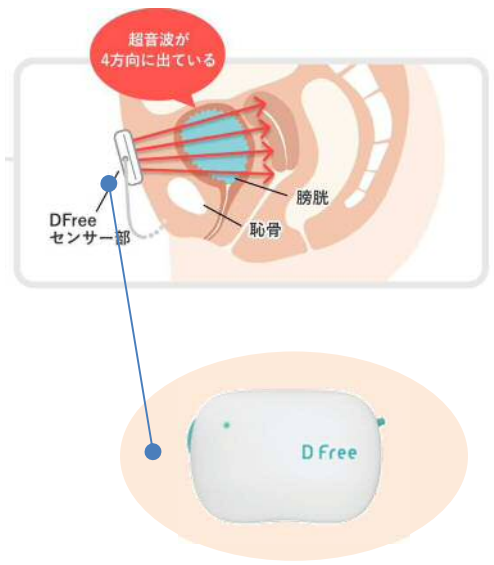
先端技術の活用とセンサーによる把握

転倒による骨折防止の床



離床センサー、転倒センサーなどを設置し、転倒実態を把握し、予防業務に活用

排泄予測デバイス



超音波を活用し、膀胱の膨らみ状況を検知し、状況に応じた適切な排泄介助を実施することが可能

【服薬】

遠隔服薬指導



自宅からテレビ電話等を活用し、家にいながら受け取った薬の服薬指導を受けられる

検定測定室での測定



薬局等にある検定測定室で測定できる項目を拡充し、気軽に健康状態を意識し、必要な場合に受診勧奨を可能とする

電子お薬手帳の PHR活用サービス



お薬手帳のデータ化により、ウェルネス情報と連携させることにより、最適な投薬を可能とする

【活用するデータ例】

- ・生活習慣情報
- ・投薬データ

【規制緩和項目】

- ・検定測定室に係るガイドライン、薬機法など

【農林業】

農地・林野台帳のデジタル化



衛星データや台帳、地図データを活用し
農林業の効率的な状況把握が可能

【活用するデータ例】

- ・栽培データ、品種データ、気象データ

鳥獣害対策の実施



↑ シカによる食害

サル →



山間地をドローンで巡回し、害獣を感知、
状況に応じ音・光などを活用し害獣の撃退

【規制緩和項目】

- ・航空法など

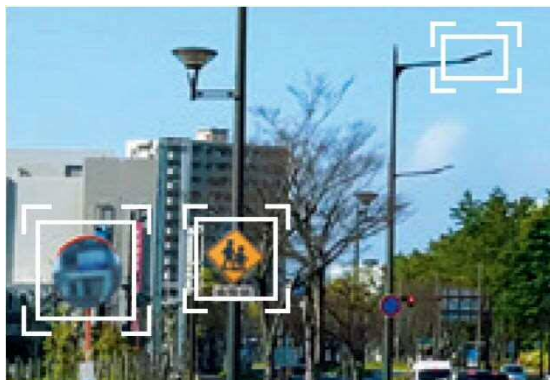
【インフラ】

道路損傷モニタリング



運送業者などにセンサーやドライブレコーダーを設置・活用し、道路損傷状況を自動検出し、迅速な把握・対応の実施

AI画像認識を活用した道路附属物管理



ドライブレコーダーの映像を活用し、案内標識・警戒標識・道路照明・カーブミラーなど道路附属物の情報をデータ化

スマートライティング



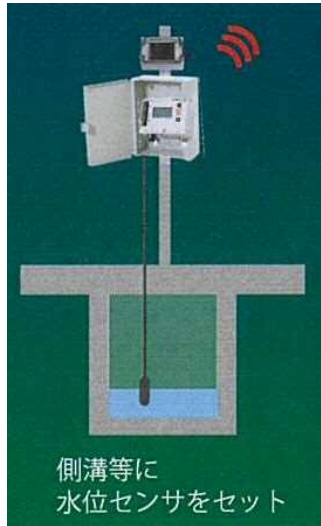
道路灯を時間帯等により調光するほか、様々なセンサーを取り付け、様々な地点の環境情報を測定

【活用するデータ例】

- ・道路情報
- ・ドライブレコーダー情報
- ・道路灯の消費電力データ
- ・環境などのセンシング情報（温度、照度、風速、湿度、UV、雨の有無、気圧、加速度）

【防災】

センサーによるモニタリング



気象データと連携した災害予測



道路冠水などの内水氾濫状況の把握や、法面などに異常があった場合に把握するセンサーの設置

気象情報やセンサー情報と組み合わせ、災害が起こる可能性を予測、まちづくりや都市計画などに反映

【活用するデータ例】

- ・ 高解像度降水ナウキャスト、解析雨量、降水短時間予報、数値標高モデルデータ

【規制緩和項目】

- ・ 気象業務法など

【交通】

自動運転車両による移動



中山間地などにおいて移動手段として
自動運転車両の活用

パーソナル モビリティの活用



電動キックボード
や一人乗りの乗り
物の活用

災害時の円滑な 交通データの活用



コネクテッドカー（
通信システムを搭載
する車）を活用し交
通状況のリアルタイ
ム把握を実施

【活用するデータ例】

- ・コネクテッドカーの位置情報データ
- ・火災、事故情報発生データ

【規制緩和項目】

- ・道路交通法、道路運送法、道路運送車両法など

(5) データ連携基盤について

① データ連携基盤の概要

出典：内閣府作成資料



標準API：Application Programming Interface
異なるソフト同士でデータや指令をやりとりするときの接続仕様

②データの管理に関する考え方

○データ連携基盤整備事業者は、法令等によるサイバーセキュリティ対策等の安全管理基準に基づく対策を実施。

③データ連携基盤におけるデータの取扱い

○浜松市のスーパーシティにおける「データ連携基盤」は、必要なときに必要なデータを連携・活用するものであり、「データ連携基盤」自体がデータを一元管理するものではありません。

(6) 個人情報の取り扱いについて

(民間事業者が保有する個人情報)

- サービスを提供する事業者は個人情報保護法を遵守。
- 本人が同意した個人情報のみを用いる。

(浜松市が保有する個人情報)

- 浜松市が保有する個人情報は、浜松市個人情報保護条例に従い、取り扱う。
- 原則として個人情報は提供しない。

(1) 浜松市「浜松市のスーパーシティについて」への意見募集

期 間 : 2月24日(水)～3月12日(金)

提出先 : 浜松市企画課へEメールまたは郵送

閲覧場所 : 市ホームページに掲載のほか、
企画課、各区振興課など

入手方法 : 浜松市ホームページよりダウンロード

(2) デジタル・スマートシティ/スーパーシティに関するご紹介

・広報はままつ 3月号 特集ページ

【お問い合わせ先】

浜松市企画課

市HP▶

Eメール : kikaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

URL : <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kikaku/jyumin/index.html>

～デジタルで“繋がる未来”を共創～



ご静聴ありがとうございました